



# ほけんだより

こども未来局  
保育・子育て推進部

令和7年7月1日 古川保育園

暑い季節がやってきました。梅雨明け直後の気温の高い日は、体が暑さに慣れていないため熱中症に注意が必要です。水分補給や体調管理に気をつけましょう。暑いからと室内ばかりで過ごさずに、涼しい時間帯には短時間の外遊びをするなど、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。



## 夏に多い感染症



### 咽頭結膜熱(プール熱)

原因：アデノウイルスによる飛沫・接触感染。  
目やにや、便からうつることもある。  
症状：39℃前後の発熱と、のどの痛みがあり目のかゆみや痛み、充血、涙など結膜炎の症状が出るのが特徴です。  
★感染力が強いので、症状がなくなり2日経過するまでは登園停止になり、登園には医師の許可書が必要となります。

### 手足口病

原因：コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる飛沫感染。  
症状：熱や手のひらや足の裏、口の中に小さな水ぼうや発疹ができる。  
★3～5日で症状が軽快するが、まれに髄膜炎などの合併症をおこすことがあるので、頭痛やおう吐を伴う熱が続くときは、すぐに受診しましょう。

### 流行性角結膜炎(はやり目)

原因：アデノウイルスの接触・飛沫感染。  
症状：瞼の腫れや異物感、痛み、充血、目やにや発熱、下痢を伴うこともある。  
★感染力が強く、プールだけでなくタオルの共有や手指の接触によっても感染する。登園停止となり、登園には医師の許可書が必要となります。

### ヘルパンギーナ

原因：コクサッキーウイルスなどの飛沫感染。  
症状：高熱、のどの痛みが特徴です。のどに水ぼうやや潰瘍ができて痛みがひどく、水分もとれなくなることもある。  
★のどの痛みは熱が下がってからも続くことがある。熱やのどの痛みがあるうちは安静に過ごしましょう。

## 園医健診

7月は電話相談日

8月7日(木) 14:30～

ひよこ組・りす組



園医

田中小児科 榊井医師

## 夏の皮膚トラブル

- \* あせも：汗をかいた時は抑え拭きをしゴシゴシ拭かず、清潔にしましょう。
- \* 虫刺され：蚊や虫に刺されない予防が大事です。刺されてしまったら水で良く洗う→冷やす→かゆみ止め等の薬を塗りましょう。
- \* とびひ：細菌感染で起こる皮膚感染症です。爪を切り、清潔にする。受診して早期治療で治しましょう。

新入園児対象の「予防接種に関する調査」のご協力ありがとうございました。



イラスト出典：メイト・クリエイティブ